

平成 29 年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価

① 「学生が輝く“まち”」再生プロジェクト

内 容

急激に高齢化が進むみずき野地区に、学生を呼び込み、「学生が輝く“まち”」として再生し、第 2 のふるさととして永続的な人の流れを創出する事業。

学生には、市が借り上げた空き家（シェアハウス）に移り住んでいただき、地域での生活・活動を通じて地区への愛着を持っていただき、つくばエクスプレスにより東京圏との近接性を強みに持つ本市を「第 2 のふるさと」として選択いただくことにつなげ、将来に向けて永続的な人の流れを創出することを目指す。

[これまでの活動内容]

●平成 29 年度

○町内会の夏祭りへの参加（ワークショップ企画「みずき野思い出マップをつくろう」



（学生達の夏祭り参加の様子）

○みずき野地区の長期ビジョン策定に向けたステークホルダーヒアリングの実施

・みずき野地区で活動する 6 団体に実施

○オープンハウス（展示形式のヒアリング）の実施

・エクセル跡地外 計 2 箇所、4 日間開催



（オープンハウスの会場の様子）

事業費 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1	・建物借り上げ費（3 棟，12 ヶ月） 3,263,760 円 ・材料費（学生活動経費） 83,808 円 ・地域の長期ビジョン作成業務 2,970,000 円 総事業費 6,317,568 円（交付金対象 3,158,784 円）	
KPI（重要業績指標）	平成 29 年度(目標値)	平成 30 年度(目標値)
	平成 29 年度(実績値)	
当該地区に転入した学生 の人数（3 年間合計）	9 人	9 人 （延べ人数）
	9 人（男:6 女:3）	
今後の方針	今後は，地区からの要望もあり，シェアハウスを 3 棟から 4 棟に拡大を検討する。平成 30 年 3 月の平成 30 年度入居者募集時点では定員に空きが生じているため，募集方法を工夫するなどして，早期の入居者確保に取り組む。 また，学生の地域活動への新たな参画の仕方を検証し，更なる地域活性化に取り組んでいく。	

② 「ママが活躍する“まち”」プロジェクト

内 容

才能豊かなママたちの活躍の場を創出するというもの。具体的な内容は、ママたちが中心となり、市と連携して、情報誌発行、動画制作・配信、イベント開催、市オリジナルグッズの製作等の活動を通じて、市の魅力発信をするというもの。

平成 29 年 1 月にプロジェクトチームのママたちの中から一般社団法人もりやスマイルライフ協会を設立した。協会が自立して事業を運営していくために、平成 28 年度に引き続き「ママカフェ」のテストマーケティングを貸店舗にて実施する。

・活動拠点の整備

「ママが活躍する“まち”」プロジェクトが今後も自立・継続していくための活動拠点を北園森林公園付近に整備する。活動拠点では、「ママカフェ」のようなママたちが自立のために稼ぐ事業を実施したり、ママたちが集い、交流できるコミュニティビジネスが実現できる場所とするもの。

活動拠点を中心にママたちがそれぞれのワーク・ライフ・バランスを実現した創業につなげることを想定。

[これまでの実施内容]

●平成 28 年度

・活動拠点「もりやファミリー- CafeFAMO」(賃貸) オープン

・ままとこマルシェ 参加者 150 人

・ハロウィンイベント 参加者 1,000 人

・もりや手作りマルシェ 参加者 600 人

・手作りマルシェ mini 参加者 500 人

・市オリジナルグッズの企画・作成 230 個

・「保育園・幼稚園ガイドブック」発行 2,800 部

・子ども服リサイクル会



(ままとこマルシェの様子)



(もりや手作りマルシェの様子)



(保育園・幼稚園ガイドブック)



(子ども服リサイクル会の様子)

●平成 29 年度

- ・「もりやファミリー-CafeFAMO」(賃貸)の運営, 活動
- ・FAMO におけるカフェ運営事業(4月から7月)

事業費 1
(地方創生推進交付金)
※交付金対象 2 分の 1

- | | |
|------------------|-------------|
| ・建物賃借料(4月~7月) | 692,752 円 |
| ・光熱水費(4月~7月) | 161,569 円 |
| ・カフェ運営委託料(4月~7月) | 492,388 円 |
| ・起業家連携業務委託費 | 1,597,320 円 |

総事業費 2,944,029 円 (交付金対象 1,472,014 円)

事業費 2 (地方創生拠点整備 交付金) ※交付金対象 2 分の 1	【参考（予算額）】 ・北園森林公園コミュニティ施設工事費 32,810,000 円 ・可動式家具作成業務（椅子，テーブル）4,477,000 円 総事業費 37,287,000 円 (交付金対象 9,153,000 円，県補助金対象 13,000,000 円) ※本事業は見直しを行い，実施を取り止めている。	
KPI（重要業績指標）	平成 29 年度(目標値)	平成 31 年度(目標値)
	平成 29 年度(実績値)	
プロジェクトによる雇用 創出	15 人	15 人 (延べ人数)
	8 人	
今後の方針	現在は，賃貸契約期間の終了により活動拠点「FAMO」 (賃貸)は閉じている。また，運営主体との協議の結果 等を総合的に判断すると今後の事業継続は困難な状況 であったため，活動拠点の整備事業を見直し(取りやめ) ている。	

③「農が繋ぐ“まち” 地域資源連携推進」プロジェクト

内 容

農業を切り口として、ポテンシャルの高い地域資源（農産物・自然・文化）を繋げ生かす活動を通して、加工業・飲食業・観光事業の各分野が自主的、かつ主体的に地域産業を活性化させる環境を整えるもの。

地域資源の有効活用と持続的な地域活性化を目的とした「(一社)もりや循環型農食健協議会」と市が連携して実施するもので、将来的には、協議会が自立して地域産業と連携した活動を実施していく。

同時に、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）や茨城大学農学部等の協力を得て、先進的な都市近郊農業モデル（アグリアカディミア※）を学び実証できる環境を構築していく。

※将来の新たな農業モデルを経験、習得できる場（圃場での農業実習）

[これまでの実施内容]

●平成 29 年度

○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）

- ・開催回数：9 回（田植え、夏野菜収穫、水稻収穫等）
- ・参加者数：214 名



（田植え体験の様子）

- ・広告掲載：3 回（新そば祭、スイーツ祭、酪農祭）



（イベントの開催案内_TX 中吊り広告）

- ・ガイドマップ作成：40,000 部（市内全戸配布，掲載店，市役所等に設置）



（市内のグルメガイドマップ）

- ・イメージ映像制作：15 本（YouTube, Facebook 等で配信）



（市内の各店舗を P R）

○直販販促事業

- ・開催場所：守谷駅西口側広場，さくら坂 VIVACE，みずき野集会所，有楽町駅前広場等
- ・開催回数 38 回



(ふるさ都市もりや朝市の開催案内)



(ふるさ都市もりや朝市の様子)

○商品・メニュー開発

- ・開発商品：ヨーグルトタルト，ほうれん草パウダー，ほうれん草パスタ



(開発した商品_ほうれん草パスタ)



(キッチンカーによる開発商品等の販売)

○都市近郊農業モデルの構築（アグリアカデミア）

- ・研修者数：2 名
- ・圃場：板戸井地内等



(アカデミアの圃場)

事業費
(地方創生推進交付金)
※交付金対象 2 分の 1

○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）

- ・グリーンツーリズムマップ作成・配布費 946,901 円
- ・イメージ映像制作費 939,600 円
- ・広告費 1,099,980 円
- ・企業連携イベント開催費 500,000 円

○直販販促事業

- ・都内への出店費 174,520 円
- ・テント・テーブル等購入費 1,096,951 円

○商品・メニュー開発

- ・商品開発費 341,880 円
- ・機能性分析によるブランド向上研究費 1,640,658 円
(茨城大学連携)
- ・キッチンカーリース費 125,000 円

	○都市近郊農業モデルの構築 ・アグリアカディアの創設準備費 3,394,468 円 （賃料 1,331,999 円, 研修費・整備費 2,062,469 円） ・研修生住宅賃料 98,349 円 ・体験農業農園の設置費 1,003,195 円 （借上げ料 31,500 円, 環境整備 971,695 円） 総事業費 11,361,502 円（交付金対象 5,680,751 円）	
KPI（重要業績指標）	平成 29 年度(目標値)	平成 31 年度(目標値)
	平成 29 年度(実績値)	
イベント等における直販の売り上げ	13,200 千円	15,300 千円
	13,211 千円	
都市農村交流人口（グリーンツーリズム参加者数）	210 人	250 人
	214 人	
今後の方針	推進交付金の実施計画に基づき継続して各事業を実施する。商品開発については、新たに蕎麦焼酎の開発や牛スジ肉の改良の研究に着手するとともに、キッチンカーを最大限に活用して研究開発した商品等を販売して守谷のPRを加速させる。 また、守谷の生産物のストーリー性を訴えるブランドブックを作成、生産物の守谷らしさの醸成を図り、守谷のブランド力を向上させる。	

④「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト

内 容

守谷市観光協会（市民ボランティア団体）がつくり上げてきた地域資源「守谷野鳥の森散策路と鳥のみち」を活用して、将来の地方への永続的な人の流れ（交流人口増加から移住促進へ）やガイド雇用を創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整えるもの。

具体的には、行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（丸太道）の安全性や快適性を向上させ、つくばエクスプレス等の民間企業と連携して自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信していく。

[具体事業]

- ・「野鳥の森散策路と鳥のみち」環境整備（更新）
- ・自然体験ツアー（つくばエクスプレス連携）
- ・イメージアップ・PR 事業
- ・蛍生息環境の整備
- ・小中学生の自然体験学習

※名称変更：（旧）守谷野鳥の森散策路と鳥のみち
（新）守谷野鳥のみち

[これまでの活動内容]

●平成 29 年度



（守谷野鳥のみち 更新された木道 全長約 700m）



（愛宕中学生との協働作業の様子）



(TX との協働作業の様子)



(蛍の棲家づくり_生息環境整備 全長約 30m)



(野鳥のみち案内板 中央三丁目地内)

	 (野鳥のみち案内板 守谷駅自由通路)	
事業費 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1	・ 野鳥のみち更新費(木道材料,消耗品等) 3,673,120 円 ・ 材料運搬費 216,109 円 ・ ガイドマップ作成費 359,000 円 ・ ホームページ開設費 36,016 円 ・ 誘導案内板設置費 4,084,180 円 ・ 蛍生息環境整備費 513,268 円 ・ 水質検査費 49,788 円 総事業費 8,931,481 円 (交付金対象 4,465,740 円)	
KPI (重要業績指標)	平成 29 年度(目標値)	平成 31 年度(目標値)
	平成 29 年度(実績値)	
「野鳥の森散策路と鳥のみち」交流人口 (ツアー参加者数)	100 人 -	1000 人 (述べ人数)
雇用創出数 (「野鳥の森散策路と鳥のみち」散策ガイド)	1 人 -	7 人 (述べ人数)
今後の方針	推進交付金の実施計画に基づき継続して事業を実施する。 木道の更新作業により野鳥のみちの利用環境が強化された。今後、交流人口を拡大させるため、守谷の魅力である「守谷野鳥のみち」を市内外の方々に知ってもらい、多くの方に訪れていただけるような事業を、首都圏新都市鉄道(株)等の民間企業と連携して実施していく。	